



脳ドック — 脳神経外科紹介

脳神経外科部長
古場 群 巳

1. 「脳ドック」の目的

脳卒中の一次予防・二次予防を目的として、本院は平成5年より「脳ドック」を開設しました。脳卒中は「動脈硬化」と密接に関係していることが解ってきましたので、「人間ドック」の検査項目の中で「動脈硬化」に関係した項目、例えば、コレステロール値が高い、血糖値が高い、尿酸値が高い方は、「脳ドック」の各種の検査で画像上での「動脈硬化」の変化の程度を知ることが大切です。

2. 検査項目と内容

- 1) MRI (1.5T) (磁気共鳴装置を使つての脳の断層画像) 1スライスが5mmで23画像になり条件を変えて(T1・T2・プロトン密度)3枚撮影しています。
- 2) MRA (1.5T) (磁気共鳴装置を使つての脳血管撮影) 大脳・小脳・脳幹部など脳を栄養する血管をほぼ全部12度の角度を変えながら、側面～斜～正面、上方から、下方から、あらゆる方向より血管の全周を観察します。12画像で5枚撮影しています。
- 3) 頸動脈エコー (超音波)
超音波診断装置(Bスコープ、パルスドプラー法)を使用し、頸動脈(心臓から脳間の血管で、動脈硬化が比較的早く出現し、この検査でその程度が観察される。)の動脈硬化性変化・狭窄・閉塞・アテローム(粥腫)・潰瘍の発見、血流の状態、椎骨動脈の走行状態などが判ります。また甲状腺腫瘍も発見されています。
- 4) かなひろいテスト (大脳高次テスト)
2分の時間内に、短い物語の中から「あ・い・う・え・お」の5文字を拾い出すテストです。大脳高次テストの中でも比較的短時間にボケ・痴呆の痴呆の情報を得ることが出来る検査です。
- 5) 血液検査
血液中で「動脈硬化」に関係する項目、総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、血糖、尿酸など
- 6) 血圧・心電図検査
高血圧、不整脈(特殊な不整脈)は脳卒中の重大な危険因子です。

3. コース別案内

毎日(土、日、祝・祭日以外)2~6名受付けています。

予約受付 健康管理センター TEL 03-3364-0251 内線 2481~2483

Aコース(56,000円) 問診・診察+1.~4. Bコース(60,000円) 問診・診察+1.~6.

Cコース(28,000円) 1.~2.

*一泊ドックの方に、オプションとしてCコースも追加できます。

結果は郵送し、希望者、再検を要する方は、担当医が(火)(金)の午後、説明します。

